

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

専門分野区分	簿記会計	科目名	工業簿記				科目コード	T1760A1		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	大谷 昇治	履修グループ	1H(BI/BO)				授業方法	講義		
実務経験の内容	IT企業のSEを経て製造業に移りシステム責任者となる。その後、財務部門に移り管理会計業務、原価計算業務を構築。取締役现就き財務責任者として、事業計画や経営法務、関係会社の事業運営を担当した。経理畑の実務経験に基づいて、企業実務に必要な簿記・経理の基本知識やスキルを指導したい。									
学習一般目標	原価計算は製品やサービスを提供するためにかかった費用を計算することである。原価は、材料費や社員の労務費など製品・サービスの提供のために発生する費用、販管費や家賃なども含まれる。企業で原価を把握することは、商品の販売価格の決定や経営計画にまで影響を与えるため非常に重要である。本授業では、原価の考え方や原価計算の基礎知識を習得する。									
授業の概要および学習上の助言	工業簿記の基礎 原価計算の基礎									
教科書および参考書	サクッとわかる日商2級 テキスト 工業簿記 ネットスクール出版 サクッとわかる日商2級トレーニング 工業簿記 ネットスクール出版									
履修に必要な予備知識や技能	1年次前期に学んだ日商3級の知識を有していることが望ましい。									
使用機器	電卓									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	工業簿記の基礎を理解する。								
	1	原価計算の流れを理解する。								
	1/2	基礎的な原価計算を行うことができる。								
	3	授業に意欲をもって取り組むことができる。								
	5	授業に意欲をもって取り組むことができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30	10						40
		2.思考・判断	20							20
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
総合評価割合	50	10					40	100		
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	授業最終日に確認テストを行う。
小テスト	授業期間中に小テストを行う。
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業態度(集中して授業を受けているか)及び授業参加(積極的に発言しているか)により評価する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 第1章 工業簿記の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第2回	第1章 工業簿記の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第3回	第2章 費目別計算(基本編)	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第4回	第2章 費目別計算(基本編)	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第5回	第3章 製造間接費の配布	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第6回	第3章 製造間接費の配布	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第7回	第4章 総合原価計算の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第8回	第4章 総合原価計算の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第9回	第4章 総合原価計算の基礎	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第10回	第5章 総合原価計算の応用	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第11回	第5章 総合原価計算の応用	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第12回	第6章 標準原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第13回	第6章 標準原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第14回	課題解決型授業1	遠隔授業 実施時期:6期(11/16~ 11/30)	別途指示

第15回

課題解決型授業2

遠隔授業
実施時期:8期(12/16~
1/15)

別途指示